

## 鳥取県立美術館の進捗状況について

令和5年12月5日 美術館整備局

## 1 主なスケジュール

## (1) 事業契約、施設整備等

時 期	概 要
令和2年3月	PFI事業者(鳥取県立美術館パートナーズ株式会社)との本契約成立
令和2年4月～	基本設計、実施設計
令和4年1月～	建設工事着工、安全祈願祭・起工式(2月)
令和6年3月	建物完成引渡し
令和6年度	建物枯らし期間・開館準備(秋以降、収蔵作品移転等)
令和7年3月	開館(R7.3.30) (PFI事業における運営期間:～令和22年3月)

## (2) 開館までの機運醸成、運営等

令和4年4月～	建設現場見学受入 ※R5.11.5に見学会100回、見学者数1万人達成	
令和5年3月	ロゴ・シンボルマークの発表	
令和5年5月	上棟記念イベント ※来場者4,000人超	
令和5年5月	館長予定者の発表	
令和5年6月	開館初年度企画展の概要の発表	
令和5年7月～	グッズ・カフェ事業方針説明会 ※県内3会場、プレサイト等で内容公開	
令和5年11月	11月5日「開館500日前イベント」 ※来場者3,500人 ※開館日をR7.3.30と発表 ※カウントダウンボード除幕式【写真】 ※現場見学会100回・参加者1万人達成セレモニー	
令和5年冬頃	カフェ事業者の公募、令和6年夏頃決定(予定)	
令和6年3月頃	開館1年前カウントダウンイベント(予定)	
令和6年4月頃	竣工記念式典(検討中)	
令和6年春頃	県民ギャラリー等の利用申込受付、見学説明会等(検討中)	
令和6年10月頃	プレス向け懇談会・建築内覧会(検討中)	
令和7年3月	3月28日記念式典、関係者・プレス向け内覧会(検討中) 3月29日一般招待者向け内覧会、オープニングイベント(検討中) 3月30日開館(開館記念企画展、コレクション展)	
令和7年度～	ミュージアム・スタート・パス(毎年、小学4年生を招待)	

## 2 施設整備の進捗状況 全体の進捗率は80%超(10月末現在)

- ・内装工事では、壁や天井の壁紙を貼る作業や、エスカレーター取付作業を行っている。
- ・外構工事も始まり、東側の新設するバス停から正面玄関までと、西側の倉吉市立図書館側とつながるように屋根付き回廊の建設に取りかかっている。
- ・駐車場部分は、11月1日付けで倉吉市から県に所有権が移転され、駐車場の線の引き直し、植栽が行われる。



## 3 初年度企画展の概要

開館年度に相応しい大規模な企画展を開催する。

○企画展1	オープニングを飾る開館記念展だからこそ集められる優れた名品を中心とした「美の饗宴」とし、アンディ・ウォーホルのほかピカソや伊藤若冲など著名作家の作品が並ぶ、それを見るためにだけでも訪れたいような展覧会
○企画展2	まんが王国とつとりの巨匠展(その一)(仮称) ※初年度は没後10年にあたる水木しげる先生をテーマにスタートする
○企画展3	幅広い層に人気のある動植物を画題とした絵画や工芸等を「楽園」のように集めた展覧会(土方稻嶺など近世鳥取画壇の絵師や狩野山雪等奇想派の作品、その他モネ、ガレ等)
○企画展4	国内外のアーティストによる現代アート展
○企画展5	県立博物館を会場に開催する鳥取県の美術コレクション展

#### 4 所蔵作品(鳥取県立博物館美術分野のコレクション)

総点数：10,618点 ※令和4年度末時点

○日本画 約1,000点 ○洋画 約700点 ○版画 約650点 ○彫刻 約150点  
○写真 約650点 ○工芸 約1,600点 ○書 約250点 ○水彩・素描類・資料類 約5,600点

##### 【今年度新たに収蔵する作品例】

○江戸絵画の多様性を示す優れた作品



伊藤若冲《花鳥魚図押絵貼屏風》江戸中期

○戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品



やなぎみわ《My Grandmothers AI》2003年



森村泰昌  
《Self-portrait / after Brigitte Bardot 2》1996年

#### 5 アート・ラーニング・ラボ(ALL)

子どもたちをはじめ、すべての人がアートを身近に感じ楽しめることを目指し、アートの学びにまつわる研究室「アート・ラーニング・ラボ (A.L.L.)」機能を設置する。

○鑑賞プログラム 作品との多様な出会いや、アーティストや作品に対する理解を深める機会を作る。

○ワークショップ 多様な方法で作品やアーティスト、各種地域資源と関わるプログラムの実施。

(大山の黒ボクで描く授業の提案(自然分野×美術分野)等)

○プロジェクト 「アートを通じた学び」の多様な普及プロジェクトの開発。

(ワークショップづくり隊、対話型鑑賞ファシリテーター、教員研修等)

##### 【ミュージアム・スタート・パス】

毎年、県内の小学4年生全員をバスで招待し、美術館で子どもたちが本物に触れ、鑑賞を楽しみながら美術に親しむことを目指す。

〈令和5年度の取組〉

・県立博物館での試行：小学校14校(18回)計869名

・対話型鑑賞ファシリテーター養成：令和5年度と令和6年度の2年間を準備期間として、同じ内容の研修を2回実施し、ファシリテーター希望登録者は2年間で5種の研修を受講する。原則として、全ての研修を受講された方に、美術館開館後に対話型鑑賞のファシリテーターをしていただく。



#### 6 県内美術系ミュージアムの連携

県内どこでも美術館のサービスが享受できるよう、また「とっとりのアート」を県外へ発信強化するため、県立美術館をハブとして、美術系文化施設9館による協力連携体制の構築を進める。

○鳥取県アートミュージアム連携協議会

・各館収蔵品で構成する「共同企画展」の開催(令和5年度「Drawing Addict !!—ハマる素描」)

・各館スタッフ協働によるワークショップの実施 など

## 7 県内や隣県との周遊、広域観光

世界的に著名な楨文彦氏が率いる楨総合計画事務所が設計を担当した県立美術館が「結集点・交差点」となり、県内や隣県の文化観光施設と連携したツーリズム、また建築に着目したツーリズムなどが考えられる。

○美術館ツーリズム 美術館やまんが記念館、芸術祭等との連携

○建築ツーリズム 鳥取県立美術館はじめ、県内東中西部に所在するユニークな建築を訪ねる



## 8 ミュージアムショップ、カフェ・レストラン

美術館を訪れる楽しみの一つであるミュージアムショップとカフェ・レストランについては、PFI事業者の構成企業 株式会社丹青社が担当し、県立美術館の関連グッズの開発や、カフェ・レストラン事業に関心をお持ちの方を対象に、事業方針説明会を開催した（7～9月、県内3会場）。

(1)ミュージアムショップ(丹青社が直営で運営)

【コンセプト】 日常を彩る“お気に入りのアート”との出会いの場

【展開イメージ】 アート・デザイン系グッズ、鳥取県の魅力を発信できる県ゆかりの商品、県内作家の作品・コラボ商品、企画展と連携した限定商品、鳥取県立美術館のロゴ・シンボルマークや所蔵作品をモチーフにしたオリジナル商品 等

(2)カフェ・レストラン(公募)

年明けに、意欲あるシェフや経営者を公募開始し、来年夏頃に決定予定。

【コンセプト】 鳥取県の魅力が集まる、県民に身近な“アートコミュニティダイニング”

【展開イメージ】 美術館建築と調和した店舗デザイン、軽食も楽しめるカフェ。県産品を活用した美術館らしいメニュー(所蔵作品をモチーフ、展覧会やイベント限定)、アートや鳥取県をテーマとしたイベント開催 等

鳥取県立美術館でやってみたい・あったらいいな「夢」は？  
(美術館整備局「夢アンケート」より)



「気軽に訪れてくつろげる場所」のニーズも高い

## 9 ふるさと納税、企業協賛の活用

(1)ふるさと納税の寄付

今年1月から、美術品購入や教育普及事業など美術館事業全体の財源とするため、ふるさと納税を新設。

【令和4年度(R5.1～3月)】18件 220千円 【令和5年度(4～9月)】208件 3,640千円

(2)企業協賛(オフィシャルパートナー)

PFI事業者が主体となって獲得する外部資金で、県も一緒になって企業への協賛金依頼を行っている。

## 10 開館時間や観覧料等

県立美術館の開館時間や利用料金等について、指定管理者となるPFI事業者が県民と対話を重ね、利用ニーズを聴きながら運営面等の観点も踏まえて具体の検討を進めている。コレクション展の観覧料も含め、今年度中に教育委員会・知事の承認を得て指定管理者が定める予定。

○開館時間、休館日などの検討案 (R5.10.11 総務教育常任委員会報告資料より)

開館時間 (検討案)	午前9時～午後5時 ※鳥取県立博物館と同じ	
休館日 (検討案)	月曜日 ※鳥取県立博物館と同じ 開館日に臨時休館、又は休館日に臨時開館する場合あり。	
貸室の対象 (検討案)	1階: 県民ギャラリー(全面、分割利用可)、県民ギャラリー控室、ホール、スタジオ(1・2・3、全面可)、控室1、控室2、控室3、ひろま、えんがわ、創作テラス 3階: 企画展示室、特別展示コーナー、展望テラス	

○コレクション展の観覧料の検討案 (R5.10.11 総務教育常任委員会報告資料より)

	一般	うち、 (20人以上)	(70歳以上)	学生	高校生	中学生	小学生	未就学児
県立美術館 指定管理 (検討案)	400円	320円	200円	200円	—	—	—	—

令和5年度鳥取県アートミュージアム連携協議会にかかる委員会・研修会・事業等の開催および計画状況

	内 容	期 日 (令和5年度)	備 考
1	鳥取県アートミュージアム連携協議会(仮称)設立準備会(ウェブ会議)	7月13日	参加者:10名
2	鳥取県アートミュージアム連携協議会(仮称)設立総会	7月28日	参加者:10名
3	鳥取県アートミュージアム連携協議会第1回専門部会	8月10日	参加者:8名
4	鳥取県アートミュージアム連携協議会第2回専門部会	10月19日	参加者:5名
5	鳥取県アートミュージアム連携協議会次年度事業会議	11月7日	参加者:9名
6	鳥取県アートミュージアム連携協議会第3回専門部会	12月～令和6年1月中を予定	
7	令和5年度共同企画展「DRAWING ADDICT !! -ハマる素描」	令和6年1月21日～2月18日	会場:米子市美術館 来場者:
8	外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会 テーマ「伊万里・有田焼の見方」(会場:渡辺美術館)	令和6年3月8日を予定	
9	鳥取県アートミュージアム連携協議会第4回専門部会	令和5年3月中を予定	